

第5回「市長と語るタウンミーティング」参加者発言概要

日 時 : 令和2年7月18日(月) 午後8時～9時30分

場 所 : くにたち市民総合体育館 2階 第1・2会議室

来場者数 : 25名(定員25名、事前申込制)、オブザーバー6名

1	<ul style="list-style-type: none">・個性的な個店が国立の魅力だと思うが、最近では魅力が減りつつあると思う。他の元気なまちを見て感じるの、特別なイベント等ではなく楽しい店がたくさんあり、店同士の横のつながりもある。・Bizも楽しみである。・なんでも「一番を目指す」のが大切だと感じる。
2	<ul style="list-style-type: none">・工事関係の仕事をしているが、事務所が大きくなってくると国立市では用途地域の制限が厳しく建てられない。ただし、建てられないから立川市に移転するというようなことは避けなければならない。・市役所が国立市で一番の大企業であり、市の発注する工事も地元を優先で考えてほしい。また、市の職員も市内のお店で消費するという意識を持ってほしい。
	<p>→(市長)</p> <ul style="list-style-type: none">・用途地域が全国一律で変わった時に、事務所の建て替えができなくなり、富士見台地域を中心に武田薬品工業(株)など多くの事業者が市外へ転出してしまった。市として何か手を打てなかったという思いはある。大企業である東京海上の転出の影響も大きく、そこで働く従業員も減り、市内の消費も減ってしまった。用途地域の制限のために事業者が市外へ転出してしまふようなことは繰り返さないようにしなければならない。
3	<ul style="list-style-type: none">・飲食店を営んでいるが、プレミアム付商品券で支払われた額の合計は現在のところ10万円ほど。・今年もくにたちビアガーデンを開催、スタンプラリーも実施していて、コロナ禍ではあるが昨年よりも売上が良い。「地域のお店を応援したい」という方が多い印象である。
4	<ul style="list-style-type: none">・小売店を営んでおり、プレミアム付商品券での支払い合計は現時点で20万円ほどになっている。・プレミアム付商品券の発行に併せてお店独自で「プレミアム付商品券使用可能」のLINEを使って告知した。せっかく市(商工会)がやってくれた事業なのだから、ただ商品券が使用されるのを待っているだけでなく、お店も独自で努力することが大切だと実感した。

5	<ul style="list-style-type: none"> ・大学通りは市の目抜き通りであり、まちの魅力というのは、個店の魅力も大切だが、まち全体の整備も大切だと思う。緑地帯等の環境整備が大切だと思うが市長としてどのように考えているか。
	<p>→(市長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑地帯もきれいなことに越したことはない。市としてもできる範囲内でやっていく。地元商店会の方々にも大変協力いただいている。ただし、行政だけで、広い大学通りを大通り公園(札幌市)のように整備するのは、国立市の財政力的には厳しいが、できる範囲内で、地元の方々と協力しながら満足してもらえるようなまちづくりをしていきたい。 ・事業者の方々にとって、チェーン店が抜けていくことをどのように捉えているか教えてほしい。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・旭通りで商売をしているが、大企業系のチェーン店が抜けていくことは個人的にはうれしい。ただし、国立駅前のスターバックスコーヒーのような“国立らしい”お店(チェーン店)が増えることは歓迎している。 ・周りの個人経営店の状況としては、高齢化が進み、廃業を考えていた事業者の中には、コロナ禍のタイミングで廃業を早めた事業者もいた。 ・先ほどお話し(No.4)にも出たが、ただ待っているだけでなくお店の個性・魅力を伸ばしレベルアップする努力をしないと生き残っていけないと感じる。
	<p>→(市長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・谷保地域の状況も聞かせてほしい。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・谷保地域はお店が点々としていて、会員の大半が工業関係である。谷保らば夏まつりなどイベントも実施して頑張っている。 ・谷保地域は国立駅前と異なりお店が点々としているので一店一店の協力がカギになってくる。 ・個店としては、それぞれの持ち味を生かすことが大切だと感じており、当店の場合は、市のごみ袋を買いに来たお客さん等へ、自宅の庭で野菜を栽培して、お店で販売している。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事で点検訪問なども実施しているのだが、コロナの影響で家の中に入れてもらえないということがある。集金に行っても出てきてくれなかったり影響がでている。 ・コロナは業務を見直すいい機会でもある。便利屋もしている。便利屋自体は東日本大震災の時に、周りを見渡し、困っている人を助けるために始めた。その時と状況が似ていると感じる。その甲斐もあり、6月の売上高は前年と同じくらいまで回復した。 ・コロナ禍で何ができるか、個店がそれぞれ知恵を出すことが重要である。

・旭通り商店会において、コロナ対策で成功した事例の一つとして「テイクアウトマップ」を飲食部門で4月上旬に約30店舗分を製作した。スマートフォンでも見ることはできるが、マップ(紙1枚)でお店を比較し、代表的な商品を見られるのは好評だったようで、売上もそこまで減少しなかった。

・4月上旬の段階で同様のマップを製作している商店会(街)はなかったようで、新聞等のメディアでも取り上げてもらった。

・2か月かけて全店を回って、メディアで紹介してくれた人(個人)に、商店会として感謝状を渡した。そのような事例は他に無く、メディアで取り上げてもらった。その方に商店会使える商品券1万円分を贈呈したが、その何十倍にもなって商店会にお金が返ってきていると思う。

・自分自身は国立市民ではないが、12年間お中元とお歳暮を合わせて24回、国立市の品物を送り続けていて、24回全て違う品物である。国立市民でも、市内にこのような素晴らしい商品があることに気が付いていない人がたくさんいると感じる。自分たちで作成した「ギフトリスト」をお店に来たお客さんに手渡したらとても喜ばれた。我がまの品物を送ると送られた方も喜ぶ。話題の一つにもなる。そこで市長や市の職員にお願いしたいのは、旧国立駅舎に「冬のギフトは国立市内で！」という横断幕を張って、ギフト商品を駅舎内で販売してほしい。そうすれば、ギフト商品も売れて、お客さんにも喜ばれると思う。市外にも国立市の魅力が伝わると思う。

→(市長)

・ご意見ありがとうございます。本日は、観光まちづくり協会も来られているので、ご意見を伺いたい。

10 現在、駅舎内でくにたちStyle掲載の商品を売っている。旧駅舎に来る人の多くはガイドマップやチラシ等、何かを持って帰りたい人が多いので、使用の制限はあるが、話のあったギフトリストのようなものを置いてすぐに持って行ってもらえると思う。ただ、売り場自体が狭くスペースが限られているので調整は必要である。まの魅力発信拠点として様々な活用方法や宣伝方法を考えていきたい。

→(市長)

・ご意見ありがとうございます。国立市商工会はいかがでしょうか。

11 国立市商工会として、スーパーさえき各店舗の総菜コーナーに、市内飲食店の商品を置いてもらった。ただ、さえきのお弁当が400円前後である一方で、市内飲食店の商品は800円前後のものが多く、まだ売上実績は見えていないが、心配である。

・谷保駅北口商店会は、今年の3~4月にかけて、谷保駅北口には生鮮3品も揃い、焼き鳥屋やスーパー、ドラッグストアもあり、商店会としてはお客さんで賑わった。ただし、売上が上がったのは生鮮3品やスーパー、ドラッグストア等一部の業種だけで、他の業種は売上減少であった。

・くにたち富士見台人間環境キーステーションについて、我がまの飲食と文化を守る目的でクラウドファンディングを実施した。目標200万円だったが、340万円集まった。

・プレミアム付商品券について、市民の方から「全て市税が使われているのか」という問い合わせがあった。最初はプレミアム率20%で考えていたが、商品券の魅力度をアップさせるために商工会から1000万円を支出して、最終的にプレミアム率を30%にした。

・コロナについて、事業者には売上自体は回復しつつあるが、まだ終わりは見えない。その中で、事業者の皆さまと協力して国立市の商工業を元気にしていきたい。

→(市長)

・世の中の経済の流れや消費動向を考えると厳しい状況であるが、本日の意見交換の場では、あまり暗い話が出てこない。一方で、この状況下においてできる改善策や成功事例の話が出てくる。そのような話を聞いていると、国立市の商工業を頑張っているというのが印象的である。その中でも市役所にしてほしい政策があれば教えてほしい。

12	<ul style="list-style-type: none"> ・不動産関係者だけが閲覧できる不動産情報サイトがあり、そこで空き店舗情報も見ることができるのだが、本日時点で33件出てくる。通常時と比較すると倍近くの空き店舗が出ているが、秋に向けて更に空き店舗数は増えていくのではないかと思う。これから商売を始めようとする方が最初に躓くのが資金計画だと思うので、空き店舗を埋めるためにも市の方で内装工事に補助金を出す等の政策があれば空き店舗が埋まっていくのではと考える。 ・スライド6ページ(国立市の産業別売上高構成比)で、国立市は「教育、学習支援業」の割合が国や都と比較すると高くなっている。国立市民の子どもの教育に対する熱が高いことがわかる。昨年、くにたち活性化協議会がくにジョブを開催して市内商店の仕事や市議会議員の仕事も体験できるということでもとても好評であったので、本年は中止になってしまったが、来年も同じように開催したいと考えているので、また協力いただければ嬉しい。
	<p>→(市長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日時点で空き店舗数が33店舗ということで、これから更に空き店舗が増えるようだと、先ほどお話ししたようなチェーン店が撤退することによる商店会(街)の歯抜け状態と同じようになってしまう。その中で商業活力が出てくるような方法や意見があれば教えてほしい。
13	<ul style="list-style-type: none"> ・旭通り商店会は約160店舗ある。No.9のお話しでも出たが4月初旬に印刷配布した「テイクアウトマップ」は好評で、中にはテイクアウトのみで前年比90%まで売り上げた飲食店もあった。一橋大学の発行する「一橋新聞」にも掲載した。社会福祉協議会と協力してひとり親世帯の支援も実施した。 ・商店会の中にはSNSを自身では使えない事業者もいるので、旭通りでYouTubeチャンネルを作成し、現在約30店舗分を収録していて、1店舗2分くらいでお店のPRをしている。 ・成功事例は、商店会の垣根を越えて、まち全体でやっていくことが大切であると考えている。 ・イタリアのルッカ市や北秋田市との交流の中で、食文化などを商業振興にどのように生かしていこうと考えているのか教えてほしい。 ・過去に年末のイルミネーションを商店会の枠を越えて実施しようと声をかけたこともあったが、コロナ禍においては、エコバッグ「(仮)くにたちエコバッグ」を市内で販売する等できたら良いと考えている。
	<p>→(市長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テイクアウトマップは旭通りの店舗だけでなく、大学通りや富士見通りの店舗も掲載しているのはとても良いと思う。知り合いも喜んでいた。 ・現在、イタリア商店の会が頑張ってくれている。ただ、イタリアも現在、コロナの影響で国全体が大変な状況下にあるので、なかなか進められていない。 ・北秋田市は、2年連続で天下市に参加(出店)して、地元のネギや米、バター餅を持ってきて売ることによって商業交流をしている。 ・12月の各商店会のイルミネーションの一斉点灯式を旧国立駅舎でできれば、市内に一斉にイルミネーションを灯すことができると考えている。そのためにまちの振興課も協力する。国立駅周辺だけでなく、まち全体で盛り上げていければと考えている。
14	<ul style="list-style-type: none"> ・旭通り商店会の一員として、何年も思っていることは、商店会に加入していない店舗が多いのが課題だと考えている。勧誘等をして加入してもらえないことが多い。